

資料 11 地震時自動解錠キーボックスについて

地震時自動解錠キーボックスとは

大規模災害時に避難者が避難所内に入れないリスクを回避するため、震度5弱以上の地震を感知すると自動で解錠されるキーボックスを避難所に設置しています。

設置場所

主に避難所の正門付近の壁に設置しています。スポーツ施設の体育館等、避難所によっては建物の出入り口付近の壁に設置している場合があります。

運用

発災時に避難者が施設を解錠し避難できるよう、キーボックス内部には以下の物品を収納します。

- 門や出入り口の鍵（ダイヤル錠の場合はダイヤル錠の番号記載したメモ）
- 体育館の鍵
- 安全確認手順書類

津波避難ビルを兼ねている避難所の取り扱いについて

津波避難ビルを兼ねている避難所のキーボックスには施設の3階以上の高さに避難するために必要な見取り図と鍵を収納しています。

津波を伴う地震が発生した際、誤って体育館へ避難しないようにするため、校門等、出入り口の鍵及び体育館の鍵はキーボックス内のダイヤル式ボックスに区別して収納しています。



- サイズ W=300mm D=200mm H=400mm
- 仕様 震度5弱以上の揺れに反応し、自動で解錠される。